

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

◇風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

平成28年11月

福岡県福岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡		
計画期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成28年度	全体事業費	13,234百万円	国費率	1/3、1/2

		要素事業名							
1)事業の実施状況	対象事業	A.基幹事業	○都市公園事業(西南杜の湖畔公園、今津運動公園、東平尾公園、南公園、小笹中央公園) ○福岡市緑地保全事業 ○福岡市緑化重点地区総合整備事業 ○福岡市吸収源対策公園緑地事業 ○安全・安心対策緊急総合支援事業						
		B.関連社会資本整備事業	-						
		C.効果促進事業	○高宮南緑地整備事業 ○運動施設整備事業 ○緑化推進事業 ○地下埋設物設置事業						
		その他関連する事業	-						
進捗状況	A.基幹事業	要素事業名		事業内容(延長・面積等)		事業進捗(H26年度末時点)		次期計画	
		○都市公園事業(西南杜の湖畔公園)		用地取得(2.68ha)、園路広場整備		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
		○都市公園事業(今津運動公園)		多目的広場、球技場整備		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
		○都市公園事業(東平尾公園)		バリアフリー化施設整備 (観覧席ベンチ取替、陸上競技場改修)		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
		○都市公園事業(南公園)		バリアフリー化施設整備 (アジア熱帯の浜谷エリア園路)		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
		○都市公園事業(小笹中央公園)		用地取得(0.18ha)		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
		○福岡市緑地保全事業		土地の買入れ(7.6ha、21地区)		一部完了		実施予定	
		○福岡市緑化重点地区総合整備事業		重点的に緑化の推進に配慮を加える地区における 都市公園の用地取得(15公園)、整備(60公園)		一部完了		実施予定	
		○福岡市吸収源対策公園緑地事業		新たな都市公園の用地取得(8公園)、整備(9公園)		一部完了		実施予定	
		○安全・安心対策緊急総合支援事業		公園施設のバリアフリー化(12公園)、改築・更新(54公園)		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
		B.関連社会資本整備事業		-		-		-	
		C.効果促進事業		○高宮南緑地整備事業		設計		一部完了	
		○運動施設整備事業		雁の巣レクリエーションセンター整備(全天候型多目的グラウンド)		完了 (H25から防災・安全へ移行)		実施予定	
		○緑化推進事業		都心部の街路空間および公共施設の緑化・花修景 (明治通り、住吉通り、渡辺通り、大博通り)		一部完了		実施予定	
		○地下埋設物設置事業		かなたけの里公園に係る下水管設置		完了		-	
		その他関連する事業		-		-		-	
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名		当初現況値 (H22年度)	目標値 (H26年度)	実績値 (H26年度)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因		
		全市における緑の面積		18,864ha (H19年度)	18,864ha	18,980ha (H24年度)	農地などの緑は減少しているものの、公園や民有地などの緑が増加しているため、全市における緑の総量を維持している		
		温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量		1,280ha	1,375ha	1,350ha	温室効果ガス吸収源に資する公園緑地の新規整備を進め、総量は平成22年度当初よりは増加したものの、公園が充足していない地域もあり、目標値を達成できていない。		
		身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合		24.1%	39.0%	31.3%	平成22年度当初よりは上昇しているものの、市民の身近な公園が充足していない地域や市街地における緑化が十分でない地域もあり、目標値に達していない。		
		地域の公園に親しみを感じている市民の割合		47.1%	61.0%	64.2%	緑化重点地区総合整備事業などにおいて、地域の公園のリニューアルを積極的に行った結果、目標値を上回った。		
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園事業について、比較的大規模な公園を整備することにより、市民の休息、鑑賞、散歩、運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。</li> <li>・吸収源対策事業については、ワークショップ等を行うことにより地域のニーズに合った公園を整備することにより地域のレクリエーションの場を創出。</li> </ul>						
効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動施設整備事業については、雁の巣レクリエーションセンターに全天候型多目的グラウンドを整備することにより、雨天でも利用可能なレクリエーションの場を創出。</li> <li>・緑化推進事業について、都心部の街路空間を緑化・花修景することにより、都心部の魅力と賑わいの創出や回遊性が向上。</li> </ul>							
3)その他	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福岡市新・緑の基本計画」を着実に実施するために、引き続き、社会資本総合整備計画を策定し、福岡市域における緑の面積の総量を維持し、市民に身近な緑や公園に親しみをもってもらえる様、目標値の達成に向けた事業を進めていく。</li> <li>・人口増加に伴う市街化や開発等によって失われる緑の面積の総量を、新たな公園の整備や緑地保全地区の買入れなどを進めることにより維持し、永続的に良好な緑を確保していく。</li> <li>・再整備時期を迎えた公園について、安全・安心の観点を踏まえ、地域が親しみを感ずるよう、既存公園のリニューアルを進めていく。</li> <li>・身近な地域において緑が豊かであると感じてもらえる様、開発によって人口が増加した市街地、特に人が集まり多くの人の勤務地である都心部において、民有地の緑化の誘導や街路樹の整備に取り組んでいく。</li> <li>・大規模な公園や都心部の公園においては、企業など民間活力の導入により公園の魅力の向上や利用者サービスの向上を図り、市民に身近な公園については、規制緩和により地域の自律的な管理・運営を誘導していく。</li> </ul>							

「風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H26年度末)
本市の「緑」に関する総合計画である「福岡市新・緑の基本計画」(平成21年5月策定)着実に実施するため、社会資本総合整備計画を策定し、福岡市域における緑の面積総量を維持し、市民に身近な緑や公園に親しみをもってもらえるよう事業を実施していく、	①全市における緑の面積(総量の維持)	18,864ha (H19年度末)	18,864ha	18,980ha (H24年度末)
	②温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量	1,280ha	1375.0%	1,350ha
	③身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	24.1%	39.0%	31.3%
	④地域の公園に親しみを感じている市民の割合	47.1%	61.0%	64.2%

A1 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
A-1	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(西南杜の湖畔公園)	用地取得(2.68ha)、園路広場整備						2,805	H25より防・安全交付金へ移行
A-2	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(今津運動公園)	多目的広場、球技場整備等						186	H25より防・安全交付金へ移行
A-3	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(東平尾公園)	バリアフリー化施設整備 (観覧席ベンチ、陸上競技場改修)						359	H25より防・安全交付金へ移行
A-4	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(南公園)	バリアフリー化施設整備 (アジア熱帯の溪谷エリア園路整備)						23	H25より防・安全交付金へ移行
A-5	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(小笹中央公園)	用地取得(0.18ha)						288	
A-6	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市緑地保全事業	土地の買入れ(7.6ha、21地区)						2,328	
A-7	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市緑化重点地区総合整備事業	都市公園の用地取得(15公園)、整備(60公園)						5,827	
A-8	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市吸収源対策事業	都市公園の用地取得(8公園)、整備(9公園)						864	
A-9	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○安全・安心対策緊急総合整備事業	公園施設のバリアフリー化(12公園)、改築・更新(54公園)						442	H25より防・安全交付金へ移行
合計											13,122			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考			
C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
C-1	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	高宮南緑地整備事業	設計・整備						8	
C-2	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	運動施設整備事業	雁の巣レクリエーションセンター施設整備						29	H25より防・安全交付金へ移行
C-3	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	緑化推進事業	都心部の街路空間および公共施設の緑化・花修景						70	
C-4	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	地下埋設物設置事業	かなたけの里公園に係る下水管設置						5	
合計											112			

主な事業効果

- ・都市公園事業については、比較的大規模な公園を整備することによる新たな緑の創出。
- ・緑地保全事業については、緑地保全地区に指定された地区で買取請求があった場合、その土地を買取ることにより、永続的に良好な緑地の確保。
- ・緑化重点地区総合整備事業については、老朽化した公園を、ワークショップ等により地域が親しみを感じる公園にリニューアル。
- ・吸収源対策公園緑地事業については、新たに市民に身近な公園を整備することにより温室効果ガスの吸収源対策に資する高木等の緑を創出。
- ・安全・安心対策緊急総合支援事業については、老朽化した公園施設の更新や段差の解消などバリアフリー化を行い、安全・安心で地域が親しみを感じる公園へと改修。

※成果指標①の現況地および実績値については、「緑の基本計画」策定時と計画期間(10年間)の中間年に計測

# 社会資本総合整備計画 事後評価

◇風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

平成28年11月

福岡県福岡市

# ○交付金の概要・変遷

○平成22年度，国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に一括し，地方公共団体にとって自由度が高く，創意工夫を生かせる総合的な交付金として**社会資本整備総合交付金**を創設。

○平成25年度，**防災・安全交付金**によりインフラ再構築（老朽化対策，事前防災，減災対策）及び生活空間の安全確保の取組を集中的に支援。

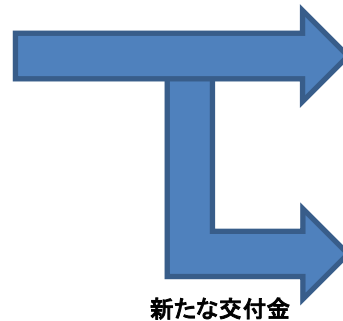
H22～H24

H25～H26

H22年度創設

**社会資本整備  
総合交付金**

都市公園・  
緑地等事業



**社会資本整備  
総合交付金**

成長力強化や地域活性化等につながる事業

H25年度創設

**防災・安全  
交付金**

「インフラ再構築」，  
「生活空間の安全確保」

- ・防災公園の整備
- ・施設のバリアフリー化
- ・老朽化した施設の更新等

# 社会資本整備総合計画(市街地整備)

## 1. 「風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡」(社会資本総合交付金)

- 計画期間(交付期間) : 平成22年度～平成26年度
- 全体事業費 : 13,234百万円

### 【計画目標】

本市の「緑」に関する総合計画である「福岡市新・緑の基本計画」(平成21年5月策定)を着実に実施するため、社会資本総合整備計画を策定し、福岡市域における緑の面積の総量を維持し、市民に身近な緑や公園に親しみをもってもらえるよう事業を実施していく。

### 定量的指標の現況値及び目標値

成果指標	算定根拠	当初現況値	目標値
		(H22年度当初)	(H26年度末)
① 全市における緑の面積(総量の維持)	都市計画基礎調査, 公示値, 衛生画像計測値等による	18,864ha	18,864ha
② 温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量	実績値	1,280ha	1,375ha
③ 身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	第9次福岡市基本計画の成果指標に関する基礎調査による	24.1%	39%
④ 地域の公園に親しみを感じている市民の割合	第9次福岡市基本計画の成果指標に関する基礎調査による	47.1%	61%

※本計画における「緑」の定義とは

- ・公園, 森林, 農地, 河川, 水面
- ・道路や学校等の公共公益施設等の緑地または緑被されたオープンスペース
- ・民有地の樹木等の緑地または緑被されたオープンスペース

# 交付対象事業の進捗状況

区分	要素事業名	番号	計画内容	計画事業費 (百万円)	事業進捗	H22~26年度 事業費 (百万円)	達成率	備考
基幹事業 (※1)	西南杜の湖畔公園	A-1	用地取得 (2.68ha), 園路広場整備	2,805	完了 (用地取得2.68ha, 園路広場整備)	2,805	100%	H25年度より防災・安全交付金へ移行
	今津運動公園	A-2	多目的広場, 球技場整備	186	完了 (多目的広場, 球技場整備)	186	100%	H25年度より防災・安全交付金へ移行
	東平尾公園	A-3	バリアフリー化施設整備 (観覧席ベンチ取替, 陸上競技場改修等)	359	完了 (テニス場観覧席ベンチ取替, 陸上競技場改修)	359	100%	H25年度より防災・安全交付金へ移行
	南公園	A-4	バリアフリー化施設整備 (アジア熱帯の渓谷エリア園路)	23	完了 (アジア熱帯の渓谷エリア園路整備)	23	100%	H25年度より防災・安全交付金へ移行
	小笹中央公園	A-5	用地取得 (0.18ha)	294	完了 (用地取得: 0.18ha)	288	100%	事業費の残は契約落差等
	福岡市緑地保全事業	A-6	土地の買入れ等 (7.6ha, 21地区)	3,500	一部完了 (土地の買入れ3.6ha, 13地区)	2,328	67%	
	福岡市緑化重点地区総合整備事業	A-7	重点的に緑化の推進に配慮を加える地区における 都市公園の用地取得 (15公園), 整備 (60公園)	10,615	一部完了 (用地取得: 7公園, 整備: 48公園)	5,827	55%	
	福岡市吸収源対策公園緑地事業	A-8	新たな都市公園の用地取得 (8公園), 整備 (9公園)	1,096	一部完了 (用地取得: 6公園, 整備: 3公園)	864	79%	
	安全・安心対策緊急総合支援事業	A-9	公園施設のバリアフリー化 (12公園), 改築・更新 (54公園)	442	一部完了 (バリアフリー化: 12公園, 改築・更新: 54公園)	442	100%	H25年度より防災・安全交付金へ移行
	小計 (A)				19,320		13,122	68%
効果促進事業 (※2)	高宮南緑地整備事業	C-1	設計・整備	309	一部完了 (設計)	8	3%	
	運動施設整備事業	C-2	雁の巣レクリエーションセンター (全天候型多目的グラウンド整備)	29	完了	29	100%	H25年度より防災・安全交付金へ移行
	緑化推進事業	C-3	都心部の街路空間および公共施設の緑化・花修景 (明治通り, 住吉通り, 渡辺通り, 大博通り)	200	一部完了 (渡辺通り, 明治通り街路樹整備など)	70	35%	
	地下埋設物設置事業	C-4	かなたけの里公園に係る下水管設置	12	完了	5	100%	事業費残は契約落差等
小計 (B)				550		112	21%	
合計 (A)+(B)				19,870		13,234	67%	

※1: 基幹事業とは、計画目標を実現するために実施する基幹的な事業

※2: 効果促進事業とは、基幹事業と一体となってその効果を一層高めるために必要な事業 (全体事業費の20/100を目標)





# 整備効果事例

## 1. 都市公園事業



【西南杜の湖畔公園】用地取得・園路広場整備



【今津運動公園】球技場整備



【南公園】アジア熱帯の渓谷エリア整備

## 2. 緑地保全事業(土地の買入れ)



【梅林南特別緑地保全地区】

## 3. 緑化重点地区総合整備事業(公園の再整備)

【施工前】



【施工後】



【東光公園】街区公園再整備

## 4. 吸収源対策公園緑地事業 (新規公園整備)



【北原中公園】街区公園整備

## 5. 安全・安心対策緊急 総合支援事業(施設改修)

【施工前】



【施工後】



【多の津公園】施設改修, バリアフリー化

## 【 主な事業効果の発現状況 】

1. 都市公園事業については、西南杜の湖畔公園等の比較的大規模な公園を整備することにより、市民の休息、鑑賞、散歩、運動等総合的な利用に資する公共空間を創出するとともに、新たな緑を創出した。
2. 緑地保全事業については、緑地保全地区に指定された地区を買取ることにより、永続的に良好な緑地を確保した。
3. 緑化重点地区総合整備事業については、老朽化した公園において、ワークショップ等により、地域が親しみを感じる公園にリニューアルを行った。
4. 吸収源対策公園緑地事業については、新たに市民の身近な公園を整備することにより、地域のレクリエーションの場であるとともに、温室効果ガス吸収源対策に資する高木植栽などの緑化を行った。
5. 安全・安心対策緊急総合支援事業については、老朽化した公園施設の更新や段差の解消などバリアフリー化を行い、安心・安全で地域が親しみを感じる公園へと改修した。

# 最終目標値の実現状況

成果指標		当初現況値 (H22年度当初)	目標値 (H26年度末)	実績値 (H26年度末)	達成状況
①	全市における緑の面積 (総量の維持)	18,864ha (H19末調査値)	18,864ha	18,980ha (H24末調査値)	○ 農地などの緑は減少しているものの、公園や民有地などの緑が増加しているため、全市における緑の総量を維持している。
②	温室効果ガス吸収源対策に 資する公園緑地の総量	1,280ha	1,375ha	1,350ha	× 温室効果ガス吸収源に資する公園緑地の新規整備を進め、総量は平成22年度当初よりは増加したものの、公園が充足していない地域もあり、目標値を達成できていない。
③	身近な地域において緑が豊か だと感じている市民の割合	24.10%	39.0%	31.3%	× 平成22年度当初よりは上昇しているものの、市民の身近な公園が充足していない地域や市街地における緑化が十分でない地域もあり、目標値を達成できていない。
④	地域の公園に親しみを 感じている市民の割合	47.10%	61.0%	64.2%	○ 緑化重点地区総合整備事業などにおいて、地域の公園のリニューアルを積極的に行った結果、目標値を上回った。

※①の現況値および実測値については、「緑の基本計画」策定時と計画期間（10年間）の中間年に計測

○「福岡市新・緑の基本計画」を着実に実施するため、引き続き、社会資本総合整備計画を策定し、福岡市域における緑の面積の総量を維持し、市民に身近な緑や公園に親しみをもってもらえる様、目標値の達成に向けた事業を進めていく。

・人口増加に伴う市街化や開発等によって失われる緑の面積の総量を、新たな公園の整備や緑地保全地区の買い入れなどを進めることにより維持し、永続的に良好な緑を確保していく。

・再整備時期を迎えた公園について、安全・安心の観点を踏まえ、地域が親しみを感じる様、既存公園のリニューアルを進めて行く。

・身近な地域において緑が豊かであると感じてもらえる様、開発によって人口が増加した市街地、特に人が集まり多くの人の勤務地でもある都心部において、民有地の緑化の誘導や街路樹の整備に取り組んでいく。

・大規模な公園や都心部の公園においては、企業など民間活力の導入により公園の魅力の向上や利用者サービスの向上を図り、市民に身近な公園については、規制緩和により地域の自律的な管理・運営を誘導していく。